

令和3年度 科学的介護情報システム (LIFE) 推進委員会・作業部会 事業計画について

**科学的介護情報システム推進委員会
事務局 得永 真人**

科学的介護情報システム(LIFE)活用に向けて

令和3年度の報酬改定では、LIFEの活用等が要件として含まれる加算を一部サービス種別において開始し、次回改正では、さらに拡充することが想定されています。

一方で、介護現場においては「LIFEとは何か?」「どのような仕組みやオペレーションが必要となるのか?」「果たして対応が出来るのか」といった、ITリテラシーの課題や環境整備に関する不安の声も多く聞かれています。

LIFEを活用した科学的介護へのシフトに向け、LIFEへの情報提供の方法から、得られるフィードバック情報の分析や解析方法、PDCAサイクルを回すための活用方法等、職員不足の現状も踏まえたLIFEの活用支援が求められる。

これまで開発メーカー・ベンダーと事業所のミスマッチ解消と、テクノロジーの活用による人材育成や導入支援に取り組んできた「介護・生活支援ロボット普及推進協議会」「介護・生活支援ロボット活用研究会」が担う役割として、今回、科学的介護情報システム(LIFE)推進委員会及び作業部会を設置し、LIFEの普及推進に取り組めます。

【令和3年度の活動内容】

具体的活動は、「本委員会」及び「作業部会」の二部構成で行い、下記を年度内の目標として、当会ホームページでの活動実績報告の掲載と報告会を兼ねたアドバンストセミナーの開催を予定。

①LIFE活用事例・モデル事業所の策定(2事業所)

②モデル事業所の横展開(報告書の作成、アドバンストセミナーによる広報・周知)

⇒自治体や省庁への提案なども視野に、有効データの集積、構築等を行う。

＜スケジュール＞

【7月】 第1回本委員会・作業部会合同開催

モデル事業実施～1月末まで

【10月】第2回作業部会

【1月】 第3回作業部会

【2月】 第2回本委員会

【3月】 アドバンストセミナー開催(予定)

アドバンストセミナー(事業報告会)

「(案)介護現場における科学的介護情報
システム(LIFE)活用実践報告会」

- ・基調講演
- ・これまでの委員会・作業部会の活動
- ・モデル事業所による実践報告

【科学的介護情報システム(LIFE) 推進委員会】

日時	令和3年度 事業計画(案)
第1回 7/9(金)10:30	・委員紹介 ・年度指針、事業計画案について ・本委員会及び作業部会について ・モデル事業所(候補)の概要と現在までの取り組みについて
第2回 2/18(金)10:30	・作業部会における報告 ・令和3年度科学的介護情報システム(LIFE)推進委員会の活動実績の取りまとめ ・令和4年度科学的介護情報システム(LIFE)推進委員会事業計画について

【目的】

全体会議として、作業部会の進捗確認と実績取りまとめ等を行う

【科学的介護情報システム(LIFE) 推進委員会作業部会】

日時	令和3年度 事業計画(案)
第1回 7/9(金)10:30	以降、モデル事業所において、アドバイザー・事務局・作業部会委員により課題抽出、対応策について取りまとめを行う。
第2回 10/29(金)10:30	・ITリテラシー強化の為の取り組みについて ・LIFEへの情報提供について ・科学的介護推進に向けた体制整備について
第3回 1/28(金)10:30	・フィードバック内容の分析について ・フィードバックの活用方法について(PDCAサイクル)

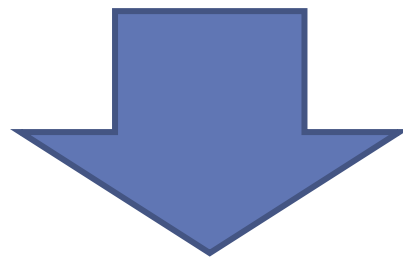
【目的】

LIFEの理解と体制整備、データの活用に向けたモデル事業所の構築

【令和4年度以降の活動について】

次年度以降は、老人保健施設や通所介護に展開を図り、次期報酬改定を見込んで、在宅系サービスも視野に入れる。

また、LIFEからのフィードバックデータを直接受け取れない居宅介護支援や福祉用具等においても、今後どのような連携やかかわりが求められていくのかを含めて、本委員会にて検討を行う予定。



事務職等専任が難しい事業所においても、
LIFEの運用体制構築への支援も目的として

横展開を図ることが目標



次回法改正においては
サービスの拡充が想定される